



Est.1912

よこ館だより

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



令和6年度、新年度がスタートし早、1か月が経ちました。4月1日辞令を受け取った50名の新任職員が元気で、山を越え、谷を越えられたのではないかと考えています。時には大変なこともあるかもしれませんが、皆さんの存在は働く仲間、利用者やその家族にとって大切なものです。1か月を迎えた皆さんに、応援メッセージを贈ります。

1. 「心に添う」支援を意識を意識しましたか 表面的なことではなく、利用者やその家族の背後にある辛さや哀しみに共感し、支えることが大切です。寄り添える言葉がけなどできたでしょうか。
2. 失敗は成功のもと 人との関係を構築するためには、少しの勇気が必要です。失敗はありません。フィードバックを受けて次に生かしていくことが大切です。
3. 人生は思い通りにいかないこともある さまざまなことが起こりますが、正しいと思えることを行っていくしかありません。あなたの仕事は、人々の心に寄り添うことです。

これからの時代、常に学ぶ気持ちを持ち、お互い協力して困難を乗り越えていきましょう。

新人職員を支える先輩方。2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響で社会を取り巻く環境は大きく変わりました。人手不足が深刻化になっている中で新任職員を迎えることができました。これは法人が積み上げてきた仕事の成果でもありますね。皆様のお力に感謝いたします。様々な人が集まることで、緊張や軋轢が生じるかもしれませんが、人とひとがつながることで、個人はもとより、組織も成長することができます。これから可能性を秘めた新任職員が、一歩ずつ前に進んでまいりますので、その力が十分発揮できるようにサポートをお願いいたします。

「わからないことがあったら何度でも聞いてね」新人をサポートするときの魔法の言葉だそうです。

皆さんに私の好きな言葉を贈ります。



幸せに生きる人

小さなことでも感謝して
自分の直感を大切に
信念にもとづいて行動す
る
まわりの声に惑わされず
過去にとらわれず
挑戦し続け
目の前のことに
夢中になれるのが
幸せに生きる人

保育事業本部 本部長 長谷川 育代

児童事業本部

昨年度末で、至誠大空の家の施設長の交替を了承していただき、4月より児童事業本部に異動、3つの児童養護施設の人材育成等に携わらせていただいています。2013年4月の開設以来、11年間の在任中、順風満帆な施設運営ではありませんでしたが、地域や関係機関、大空の家の子ども達や職員に支えられただけでなく、至誠学舎立川という大きな法人に護られている安心感がありました。法人内の高齢者施設や保育園で高校生の職業実習やアルバイトを快く受け入れていただき、子どもの自立支援に力を貸していただきました。今後はこの仕事の出発点となりました至誠学園の地に戻り、至誠の子ども達の養育に日々奮闘している多くの若い職員が、少しでも至誠の職員として誇りと自信を持って長く働き続けて行けるよう微力ながらサポートをしたいと考えております。後任の風間俊秀施設長は、大空の家の開設時からの職員ですが、至誠学園、大地の家と3施設での勤務経験もあり、子どもの支援や施設運営にも安心してバトンタッチができる人材です。これまでのご支援に感謝申し上げます。これからどうぞ宜しくお願い致します。（至誠大空の家 前施設長 国分美希）

保育事業本部

学生だった頃、「人生の最も苦しい いやな辛い損な場面を 真っ先に微笑みを以って担当せよ」という言葉に出会い息を飲みました。苦しいこと、損なことを率先して選ぶって、そんなこと…とその時は思いました。学校の門を通るたびに刻まれた文字を見ないようにしながらもその言葉はずっしりと心に残り、そのような境地で仕事や人生をおくれるのかと折りにふれ、まだまだ、まだまだと繰り返し自問自答をしています。新任や中堅の時は、自身のスキルアップが優先でしたが管理職になって、支える、育成する側になってその難しさに慣れることはありません。相手を尊重し、寛容でありたいと願い、自身を他の人と比べず、支えて頂いている周りの方に感謝しながら今年度も頑張りたいと思います。

（至誠第二保育園園長 三浦修子）

高齢事業本部至誠ホーム

「毎年訪れるもの」

今年も至誠ホームの桜は見事でした。時期は短めでしたが美しく咲き誇っていました。中でも、至誠ホームけやき広場はいつも見応えがあります。子彼岸桜（こひがんさくら）に始まり染井吉野（ソメイヨシノ）、右近桜（うこんざくら）と続き八重桜（やえざくら）となります。

ゴールデンウィークは決算作業の時です。5月末の決算理事会に報告すべく、法人経営会議への決算案報告に向けて、事務局経理はお休み返上で取り組みます。

私も15年になりますが、以前は深夜までの作業も経験しました。現在はさまざまな改善努力が効果を上げて順調に作業が行われ、決算案報告会を迎えれそうです。

各事業所の予算について、収入と支出の管理を各施設長と連携を取りながら一年間行ったことも、至誠ホームの財政面の安定化に加え、経理の安定した処理につながり、結果として決算作業においても正しく作業が進められることにつながっています。

さて、毎年なり、定期的更新なり、手続きをしなければならぬものは自分達に責任が任されていることがあります。本人だけに任せておけばいい訳でないものもあります。

毎年この頃ホームでは、自動車免許証の更新確認を行っています。通所の送迎や利用者の受診の送迎を行う人を始め、私も含め対象者全員の点検が不可欠となります。

（高齢事業本部 至誠ホーム 福ホーム長兼事務局長 金井 裕一）

（編集後記）一気に初夏の陽気になり、緑がとても綺麗な時期となりました！保育園の鯉のぼりも気持ち良さそうに泳いでいます🐡今年もこどもたちの元気いっぴいな声に励まされながら仕事ができそうです（小）